**全国農業図書がお勧めする「農業経営者向け図書等」**

令和元年11月

(一社)全国農業会議所出版部

（価格はすべて１０％税込・送料別）

**１．平成31年度　経営所得安定対策と米政策（30-28、107円）**

**※令和２年度版は令和２年１月中旬刊行予定（10％税込110円）**

　平成30年産米から「新たな米政策」が始まり、農業者(産地)の主体的な判断による、需要に応じた生産・販売が行われています。

　その初年の30年産の作付面積は、主食用米が増え、備蓄米と飼料用米が減少したこと等から、31年産については、「人口減を反映した厳しい需給見通し」や「備蓄米買入の運用改善」をはじめ、ＴＰＰ11発効を考慮した「麦・てん菜のゲタ対策交付金の単価改定」が実施されます。

　農業経営の安定を図るには、経営所得安定対策のゲタ・ナラシ対策、水田フル活用対策、収入保険制度などの仕組みとメリットを周知し、加入推進することが重要です。本パンフレットは、これら制度についての普及啓発資料として幅広く活用できます。

**２．簿記**

**①改訂８版　はじめてのパソコン農業簿記**

**ソリマチ（株）「農業簿記11」体験版CD-ROM付（31-36、3,000円）**

　ソリマチ（株）の農業簿記ソフト「農業簿記11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。

**②2019年版　青色申告から経営改善につなぐ**

**勘定科目別農業簿記マニュアル（31-37、2,160円）**

　企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理しており、「わからないとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書として、研修会のテキストとして適しています。また、最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。2019年10月から導入された消費税の軽減税率の取扱いについても記載。執筆者は税理士の森剛一氏。



**③「わかる」から「できる」へ　複式農業簿記実践テキスト（29-11、1,681円）**

　簿記の学習のヤマ場といわれる「仕訳」については、多くの仕訳例を掲載。実際の簿記相談に裏打ちされた仕訳例は読者の手元で即戦力となります。記帳のイロハから実務まで網羅した手引書として、初心者や実務経験者の心強い味方になる一冊です。

**④記帳感覚が身につく　複式農業簿記実践演習帳（27-23、418円）**

　都道府県農業会議の簿記指導のノウハウを集積し、複式農業簿記実践テキストの姉妹書として作成。問題と回答を本冊に収録し、記述できる回答は別冊とし、切り離して利用できるようになっています。

**３．税務**

**１）書籍**

**①令和元年度版　よくわかる農家の青色申告（31-21、830円）**

　青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の「入門書」です。令和元年度版は、消費税10％への引き上げと軽減税率や最新の記入例を掲載。あわせて「農業者（個人）の令和元年度所得税の改正のあらまし」も載せています。

**②令和元年度版　農家のためのなんでもわかる農業の税制（31-19、1,140円）**

　農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第２部の「農地税制Ｑ＆Ａ」では、照会の多い質問にていねいに答えています。

**③一問一答集　新訂版　農家の所得税（27-29、2,954円）**

　本書は、所得税に関する計算の仕組みや手続などのうち、農家に関係の深いものについて説明したもので、理解しやすくするために問答式としています。日常の農業経営の中で関係すると思われる疑問について網羅的に取り上げ、設問や配列にあたっては所得税の全容の理解に役立つように配慮してあります。７年ぶりの改訂にあたり、この間の税制改正を反映。マイナンバー（社会保障・税番号制度）のほか、農業経営以外の部分についても、住宅取得等資金や教育資金の贈与、ＮＩＳＡ（少額投資非課税制度）なども新たに盛り込みました。

**④改訂２版 農地等の相続税・贈与税納税猶予制度をご存じですか（31-23、90円、8頁）**

　相続税・贈与税納税猶予制度の概要、相続税納税猶予額の計算例などを解説、相続時精算課税制度も収録しています。31年の税制改正の「事業承継税制」の創設を反映した最新版の農業者向けリーフです。

**４．家族経営協定、年金、認定農業者、農業法人化**

**①「家族経営協定」で新しい時代をひらく（26-15、160円）**

　家族一人一人の立場や働き方を明確化し、確かな経営計画や生活設計を樹立し、家族全体や個々人の夢を実現するのが「家族経営協定」です。農業経営や暮らしの現状確認を出発点に、世代や男女を問わず対等な立場で話し合うためのポイントや制度上のメリットを、東京農業大学の五條満義准教授が先進事例も含め農家向けに書き下ろしたパンフレットです。

**②2019年度版　農業者年金　加入推進用リーフレット（31-07、90円）**

　少子高齢時代を先取りした農業者年金制度の魅力やメリット、政策支援を受ける要件などを紹介した、加入推進用の農業者向けのリーフレットです。



**③人生100年時代 農業者年金で安心の備えを！10話**

**（30-22、160円、12頁）**

農業者年金の良さをファイナンシャル・プランナーの立場から、10話にわけてやさしく解説しました。農業者が読んで「なるほど納得！」という、気軽に読める12ページの小冊子です。

**④2018年度版 地域農業の担い手 「認定農業者」（30-17、75円）**

**※2019年版は11月刊行予定**

　認定農業者制度の概要やメリットを伝え、認定農業者になることを勧めるリーフレットです。認定農業者になるための要件や、なった場合の主な支援措置、「全国優良経営体表彰」の優れた経営事例等を紹介しています。

**⑤農業経営を法人化しませんか？（30-36、75円）**

　家族経営の法人化や集落営農の法人化の意義に始まり、会社法人と農事組合法人の違いを比較表で明らかにしました。農地所有適格法人の４つの要件を解説しつつ、解除条件付き貸借による一般法人の農業参入の要件も簡潔に示しています。法人設立の手順も図示。信用力の向上や人材確保、販路拡大、税制特例など法人化のメリットと義務負担についても解説しています。農地所有適格法人制度と農業経営の法人化の概要を１枚で説明できるリーフです。

**⑥Ｑ＆Ａ 農業法人化マニュアル 第４版（28-19、897円）**

　法人化のメリット、法人の設立の仕方、法人化にともなう負担などの疑問に答え、法人化するかどうか、法人設立の方法などを一問一答形式でわかりやすく解説しています。

**５．新世代の農業挑戦－優良経営事例に学ぶ－　叶　芳和　著（26-14、1,121円）**

　農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリッツに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業･農村の最前線を取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取組を紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。

****

**６．新・日本農業の実際知識　羽田　實/折原 直 改訂共著**

**（28-42、1,019円）**

　初版から12年。新たなデータを追加・更新して「日本農業の本当の姿」を解説しています。マスコミによる日本農業に対する多くの誤解や経済界・農業界の疑問に対して明快に回答。TPP問題にも言及しています。

****

**７．実践型農業マーケティング　平岡　豊　著　（18-20、837円）**

　「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」（第1章マーケティングの基礎知識より）。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。

****

**８．多視点型農業マーケティング　平岡　豊　著　（26-30、950円）**

　農業マーケティングの先駆者である平岡豊氏が「実践型農業マーケティング」の続編として著した最新刊。日本農業はこれまで「単視点的」発想での施策が多かったのではないか？と問いかけ、新たな視点で現状を見直し、打開策を見い出すよう意識改革を促します。全国農業新聞への連載「マーケティング・アイ」から選りすぐのコラム77件を掲載。